

地域の自然や生き物を守るため
「小さな自然再生」に取り組む団体を支援

地域の自然や生きもののために「小さな自然再生」の活動を行う市民団体・グループを支援します。

▼対象活動期間

2024年3月29日(金)まで

▼対象活動

次のいずれかに当てはまる活動

▽地域の生物多様性の確保や保全するための自然再生活動(例:ビオトープづくり、外来生物の除去など)

▽地域の生物多様性を知るための観察会や生きもの調査

▽コウノトリ野生復帰や生物多様性をテーマとした自然環境体験学習

▼対象者

次の要件を全て満たす市民団体・グループなど

▽市内に活動拠点を有し、主に市内で活動している

▽公共の福祉を目的とした自主的な活動をしている

▽構成員が3人以上である

▼支援件数 予算の範囲内

▼助成金額 1件当たり1万円以上5万円

円以内(謝金、手数料、通信運搬費、消耗品費など)

※千円未満は切り捨て

▼申込み

24年2月29日(木)までに、申請書類に必要事項を記入の上、提出してください。

※申請書類一式はコウノトリ共生課窓口にあります。(左の二次元コードからダウンロードできます)

《問合せ》コウノトリ共生課

☎21-9017



こんな地域活動を支援します



マルチトープづくり



川の自然観察会

コウノトリKIDSクラブ メンバー募集

生きもの調査などで豊岡の自然に触れませんか



2023年度コウノトリKIDSクラブのメンバーを募集します。

同クラブでは、豊岡の自然に触れ『命を見つめる心』を養います。

生きものが大好きな子どもも、ちょっと苦手な子どもも、一緒に楽しく活動しましょう。

▶活動期間 5月21日(日)(第1回活動日)~2024年3月<8回程度>

▶内容 生きもの調査、環境保全活動、本市以外で活動する子どもたちとの交流など

▶対象

- ・市内在住の小学4~6年生
- ・コウノトリや豊岡の自然に関心がある方
- ・年間を通じて活動に参加できる方

▶定員 15人(申込み多数の場合は抽選)

▶参加費 年間1,000円(教材代)

▶申込み 5月8日(月)までに市ホームページ(左の二次元コード)の専用フォームから申し込んでください。



専用申込みフォーム(市ホームページ)



▲水田ビオトープでの生きもの調査

3つの参加特典

◇新メンバーには、KIDSクラブのオリジナルキャップとTシャツ、観察用ノートをプレゼント



◇参加回数に応じて「生きものバッジ」がもらえる

◇豊岡の自然やコウノトリを大好きになれる

《申込み・問合せ》コウノトリ共生課☎21-9017

退職した皆さん

国民年金の届け出は済んでいますか？

国内に住所がある20歳以上60歳未満の全ての方は、国民年金に加入して保険料を納めることになっています(2023年度定額保険料は月額1万6520円)。会社や官公庁などを退職した方は、国民年金第1号被保険者になりますので、届け出てください。

▽基礎年金番号の分かる書類を持参の上、市民課または各振興局市民福祉課で手続きを行ってください。

豊岡年金事務所から

▽受付時間(通常) 平日(月～金曜日)午前8時30分～午後5時15分

▽時間延長 週初の開所日の午後5時15分～7時

▽週末相談 第2土曜日の午前9時30分～午後4時

▽持参物 マイナンバーまたは基礎年金番号の分かるもの、本人確認できるもの(マイナンバーカード、運転免許証など)を持参してください。

《問合せ》日本年金機構豊岡年金事務所 ☎22-0948 市民課 ☎21-9061または各振興局市民福祉課

「追納」で年金受取額を増やす

ポイント

過去10年以内に保険料免除・学生納付特例期間等のある方にお勧め

国民年金保険料の免除(全額免除・※一部免除・法定免除)、納付猶予、学生納付特例を受けた期間があると、保険料を全額納めたときに比べ、老齢基礎年金の年金額が少なくなります。そこで、将来受け取る年金額を増やすために、これらの期間の保険料をさかのぼって納めることができる制度が「追納制度」です。追納制度の利用には、申込みが必要です。

※一部免除(納付すべき保険料を納付していない場合は追納できません)

【注意事項】

- 過去3年度以前の追納保険料は、当時の保険料額に加算額が付きます。
- 追納が可能な期間(過去10年以内)のうち、原則最も古い分から先に納付することになります。
- すでに老齢基礎年金を受給している方は利用できません。



みんなのジオパーク第5回

「ジオパーク」は皆さんの活動が大切

ジオパークの目的は大きく3つ。①保護②教育③活用です。

簡単に言うと、価値ある地質遺産を守り・知り・使って「ここに住みたい」「ここに住み続けたい」と思えるような持続可能な地域づくりをしようという地域活性化のこトです。

的なジオサイトの点検、海岸や山林の清掃、ふるさと学習やジオ視点での防災学習、観光アクティビティやガイド、そして地元食材グルメの開発などさまざまな活動があり、そこには多くの人が関わっています。

地域活性化と一口に言っても、アプローチの方法は多岐にわたります。ここ山陰海岸ユネスコ世界ジオパークでも、エリア内の各地で定期

は、地域が、そして地域の皆さんが主体となり、継続的に活動を行っていくことです。地域の皆さんがやりがいをもってジオパーク活動を行うことが地域活性化に繋がります。そしてそれらが続けることにより持続可能な地域となります。

だから「ジオパーク」は皆さんの活動が大切なのです。



▲地元中学生による清掃活動(気比の浜)



《問合せ》山陰海岸ジオパーク推進協議会 ☎26-3783